

# 「愛伝舎」に10万円贈る

県議会議通じ 南カリフォルニア県人会

県出身者や県ゆかりの人、伊勢神宮や熊野古道など県内3カ所の観光地を動画投稿サイト「コアチコア」で配信する。

は16日、定住外国人を支援するNPO法人「愛伝舎」(四日市市)に対し、県議会を通じて10万円を贈った。

外国人向けに県内の観光地を多言語で発信する。

県人会が昨年、創立120周年を迎えたことを記念した事業の一環。寄付金を活用し、飯野高校(鈴鹿市)英語コミュニケーション科の海外にルーツがある生徒らの協力を得て、英語、スペイン語、ポルトガル語で、



坂本理事長(左)に寄付金を手渡す舟橋県議(右) 県議会議事堂で

県議会議事堂で10日、贈呈式があり、県人会の太田勉会長の親戚にあたる舟橋幸県議が代理で、愛伝舎の坂本久海子理事長(62)に寄付金を手渡した。坂本理事長は「(学生時代に)県の魅力の世界に発信してもらい、懸け橋になってほしい」と話した。

県人会は1903(明治36)年に発足。40年代は約千家族が加入していたが、交流サイト(SNS)の普及などから会員が減り、現在は30家族余りになっている。59年の伊勢湾台風で県内が被災した時や64年の県庁建設時にも寄付金を贈ったという。

(牧野良実)